

陸上貨物運送業 災害撲滅対策要請

慣れた作業も再確認 手順・対策 安全行動

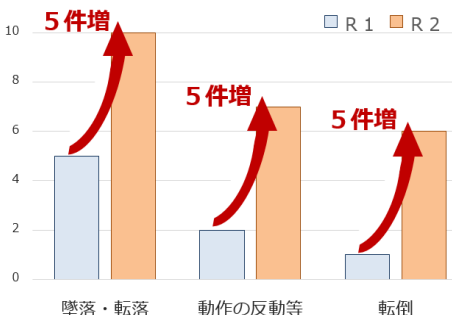
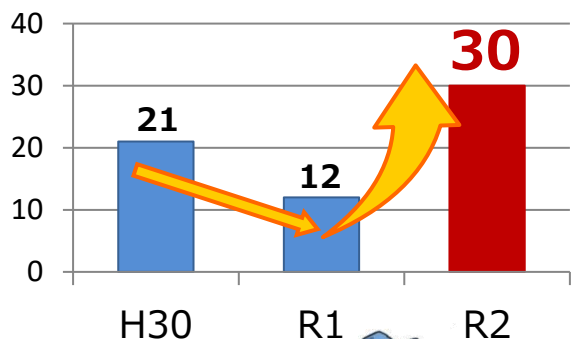
災害を防止するためには、「安全行動」への意欲を向上させる活動、環境作り等により、改めて労働災害防止に積極的に取り組むことが重要です。

事業主の皆様におかれましては、コロナ禍で過去にない社会情勢ではございますが、作業手順・災害防止対策についての再確認と労働者への指導・教育を実施していただきますようお願い申し上げます。

確認・指導強化

再発防止対策・リスクアセスメント

令和2年飯塚労働基準監督署管内の陸上貨物運送事業における休業4日以上の労働災害は30件発生し、前年より**2.5倍**の増加に転じました！

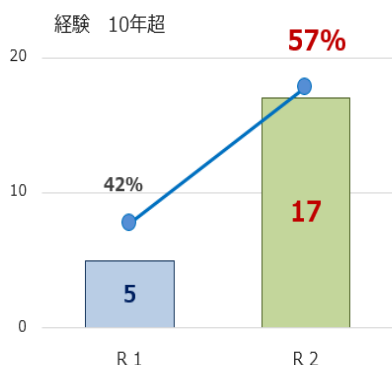


「墜落・転落」、「動作の反動・無理な動作」、「転倒」が大きく増加、令和2年はこの3つで約8割

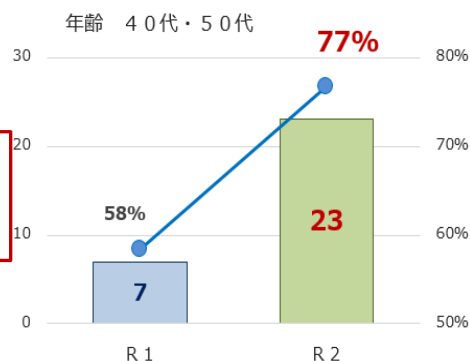
安全衛生教育

作業手順・災害防止対策・安全行動

- ・10年を超える経験者が約6割
- ・40代・50代の方が約8割

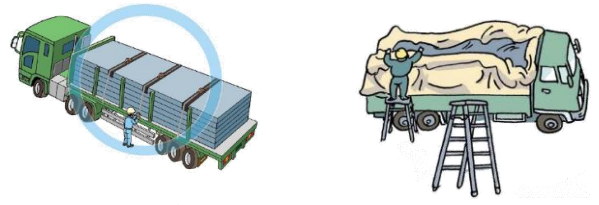


作業に伴う危険とその対策の知識がある熟練労働者の割合が増加



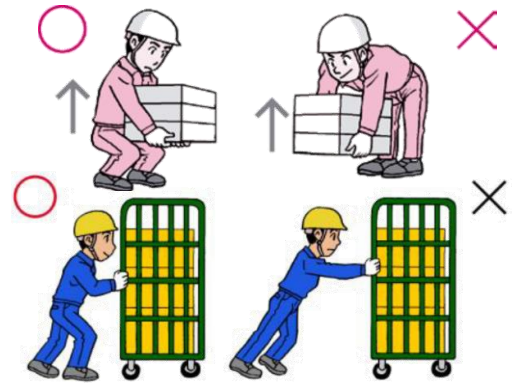
墜落・転落による労働災害の防止対策

- 荷締め、ラッピング等は、荷や荷台上で行わず、できる限り地上から、または地上での作業とする
- 安全帯を使用する（取付設備がある場合）
- 墜落時保護用の保護帽を着用する
- 荷や荷台の上での作業は、荷台端付近で背を荷台外側に向けないようにし、後ずさりしない
- あおりを立てる場合には、必ず固定する
- 荷台への昇降は、昇降設備を使用する



腰痛防止対策

- 荷役作業を行う前に準備運動を行う
特に、長時間運転した後は、小休止・休息やストレッチを行ってから荷役作業に取り掛かる
- 中腰の作業姿勢など不自然な作業方法をとらない（できるだけ身体を近づけ、重心を低くする）
- ロールボックスパレット等を押す場合には、荷に身体を寄せて背を伸ばし、上体を前傾させて前方の足に体重をかけて押す
- 重量の重い荷は、2人以上で扱う
- できるだけ台車等を使用する



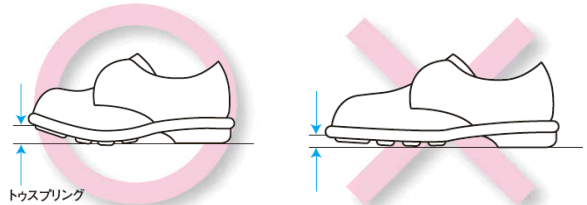
転倒による労働災害の防止対策

- 作業を行う前に、周辺の床・地面の凹凸等を確認する
- 後ずさりでの作業はできるだけ行わない
- 時間に余裕を持って行動する（近道・省略行動をしない）
- 作業場所に合わせて、耐滑性、屈曲性のある安全靴を使用
- 自社内の荷役作業場所の整理整頓、床・地面の凹凸等のつまずき原因をできるだけなくす

STOP! 転倒災害

一定のトゥスプリングがあると歩き易い

トゥスプリングが低すぎるとつまずき易くなる



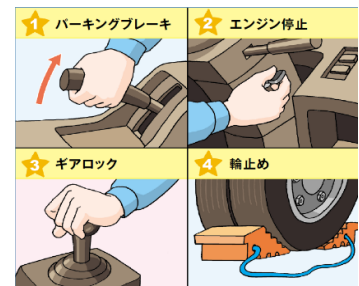
(国土交通省) トラック運送業における
書面化推進ガイドライン

その他の労働災害の防止対策

- ロープ解きの作業、シート外しの作業を行う場合は、荷台上的荷の落下の危険がないことを確認した後に行う
- 鋼管、丸太、ロール紙等は、歯止め等を用いて確実に荷崩れを防止する
- 停車中の貨物自動車の逸走防止措置を確実に行うこと。万一、貨物自動車動き出したときは、止めようとしたり、運転席に乗り込もうとしない
- 崩壊・倒壊、踏み抜き等のパレットの破損による労働災害を防止するため、パレットの破損状況を確認し、破損している場合は交換してください。

《 荷役5大災害防止対策 》

墜落・転落 荷崩れ
無人暴走 フォークリフト使用時
トラック後退時



荷役作業安全対策
(事業者用)



荷役作業
重大災害対策